

みくらんど

JA全農えひめ情報

■特集

「トータルアグリード事業」の取り組み①

■JA直売所めぐり

とれたて市・わくわく市・神山新鮮市 ～Aコープ～

5

2013・May



▶生果を慣れた手つきで素早く次々とカップへ入れていく。衛生面、選別作業、安全管理と、入念なチェック体制が整った製造現場



▶中身がよく見える透明パッケージを使用し、愛媛県産も強調したラベル・デザイン。トマトとゴールドキウイの「まるごと」シリーズ（写真手前）はぜひいたくな味わい



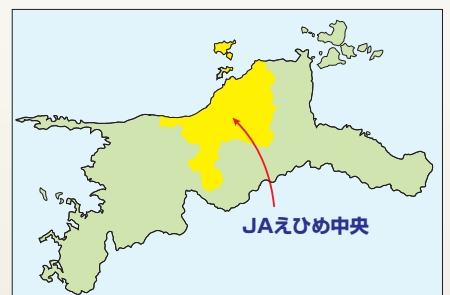
フルーツゼリーの製造

（JAえひめ中央）

JAえひめ中央のフルーツゼリーは果肉たっぷり、ゼリーの部分も果汁入りの「純生づくり」、伊予柑の「寒づくり」、ダイナミックな「まるごと」シリーズに加えて、「飲むゼリー」など、多彩なラインナップで「生」のおいしさを追求しています。

フルーツゼリーの製造は、規格外の伊予柑に付加価値をつけ、生産者の手取り向上につなげるために始まりました。現在は果樹産地の強みを活かし、ゴールドキウイを含めて管内の生果を積極的に活用。みかん、レモン、トマト、ミニトマトを加えた6種が県内産を使用しています。

全体の3割以上を占める伊予柑製品の最初の加工工程は各農家が手作業で皮をむき、1房1房をバラした状態で集荷すること。この手間暇で菌ごたえも風味も限りなく生果に近いゼリーとなります。トマト嫌いの職員の逆転発想から生まれたミニトマトゼリーもまたトマト嫌いの子でも好んで食べる人気商品に成長しています。夏場の最需期に向けて8月までは1日に最大10万個、年間では1,000万個を製造し、関西圏を中心に全国の百貨店、量販店、直売所に出荷されます。



あぐり〜ど

May 2013

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



学校の新学期にもだいたい慣れてきた子どもたち。真っ白いミカンの花が山の斜面を埋め尽くす5月の通学路を今日も元気いっぱいに帰っていきます。

働き蜂たちは蜜を求めて忙しく、それにあわせて養蜂家も忙しくなります。ミカン農家は草刈り、防除、摘果作業と農作業が続きます。暦の上ではもう立夏。活気あふれる季節が始まっています。

●表紙：ミカンの花
はら ふみ(イラストレーター)

※「あぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.149

フルーツゼリーの製造

(JAえひめ中央)

2

〈特集〉

「トータルアグリード事業」の取り組み①
担い手の所得確保と経営安定化で
産地基盤強化・元気な産地づくり！

6

THE・ねっとわーく

7

4月14日は「オレンジデー」。多彩なイベントでアピール！

8

ふるさと ESSAY VOL.217

新しい自分に向かって…

藤崎 朱美さん

10

TOPIC NEWS

12

なんでもBOX

13

統計BOX

14

JAふるさと自慢Vol.149「直売所めぐり」

とれたて市～Aコープのむら店～
わくわく市～Aコープなかやま店～
神山新鮮市～Aコープやわたはま店～

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉豚モモ肉 (ふれ愛・媛ポーク)

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ja-fresh/>

◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

担い手の所得確保と経営安定化で 産地基盤強化・元気な産地づくり！

高齢化の進行等農業の生産基盤が弱体化する中で、JA全農えひめは、平成25年度から3年間、新たに販売に重点を置いたトータル戦略「トータルアグリード事業」を展開し、愛媛農業基盤の維持に向けて担い手の所得確保と経営安定化の取り組みを進めます。この事業は、耕種事業（米麦・野菜花卉・果実）と畜産事業の事業別にJAとJA全農えひめの各事業部門が総合力を発揮し取り組みます。

今回から3回シリーズで取り組み内容・具体策を紹介します。

耕種と畜産の事業別に トータル戦略を展開

「トータルアグリード事業」は、平成16年度から24年度まで実施してきた「生産・販売・購買一体事業」を拡充強化し、畜産事業を加えて取り組みもので、心を一つにして総合的にえひめ農業をリードし束ねていくという取り組みです。

産地基盤の強化に取り組み、生産・流通・販売・購買の各段階における

効率的な事業運営により事業・組織の結集をはかり、元気な産地づくりを実践していきます。

耕種事業では、「生産・販売・購買一体事業」の9年間の実績を踏まえ、第35回JA愛媛県大会でも決議された「地域農業戦略」を実践していくために、「コアモデル」事業をさらに進化させ、販売に重点をおいたトータル戦略として取り組みます。

畜産事業では、強固な生産基盤づくりに向け、農場ごとの生産性向上

を支援するとともに、伊予牛『絹の味』・『ふれ愛・媛ポーク』ブランドの品質と安全性を高め、販売先・消費者に対してブランドの認知度向上と地産地消の理解醸成を進めます。

事業目標

- ① 地域営農ビジョンの策定・実践への取り組みの支援
- ② 地域農業をリードし農業で所得を確保できる「担い手経営体」の育成・支援

「トータルアグリード事業」について

〈名前の由来〉

「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と、「心を一つにする (Agreed)」という意味を込めている。

③ 新規就農者また所得向上を目指す生産者の底上げに向けた育成・支援

④ TACを主体に事業間連携のもと所得向上に向けた企画提案の実践

展開方策について

中央会・JA全農本所との連携により、全国の事例の情報収集ならびに提供を行って「地域営農ビジョン」の策定を支援します。

担い手不足対策としての「JA出資型法人」等の設立・運営、また、新規就農者の育成に向け、JAに支援を行い一体となって取り組むとともに、地域で深刻化している鳥獣害対策については講習会等を通じて担い手に役立つ情報（資材）の提供に取り組みます。

また、担い手経営体への事業支援として、JA・県域TACによる「担い手」への訪問活動を通じて経営改善提案に取り組みます。

JA全農えひめでは、「地域営農・担い手支援対策要領」を設定し、①遊休農地等の解消に向けた担い手支援対策、②大規模担い手育成モデル実証対策、③重点作物による生産基盤拡充対策、④JAマーケティング

調査による販売力強化対策に取り組むこととしています。

耕種事業

(1) 米麦

買い取り販売方式による生産者の手取り向上と代金精算の迅速化、JA系統集荷の拡大に取り組みます。また、大規模経営体へ契約的栽培を促進し生産と直結した販売チャネルの拡充を図るとともに、販売先に対し提案型企画販売等を実施します。

【目標】

米は、高齢化等により減少傾向の中で、「コシヒカリ」「あきたこまち」「ヒノヒカリ」の3品種を中心に、25年度生産面積1万5,300ha、集荷量1万6,000tの目標を掲げ、27年度維持に向けて取り組みます。

はだか麦は、25年度面積目標1、700haを掲げ、27年度も維持に向けて取り組みます。

【ビジネスモデル】

異常気象等に対応する優良品種への転換と高品質安定生産及び販売体制の確立を目指し、ビジネスモデル品目として、米の高温耐性品種「に

こまる」、高品質で安定的な収穫量が確保できるはだか麦の「ハルヒメボシ」を設定。産地導入と生産振興計画の策定を進めるとともに、優良種子の確保・安定供給等に取り組みます。

(2) 野菜・花卉

地域特性を活かしたブランド化を図り、愛媛チームによる県域販売の取り組み強化を展開するとともに、業務加工用需要に対応するための体制整備等に取り組みます。

【目標】

企画販売額は25年度2億2,000万円、27年度には2億5,000万円、直販販売額は25年度2億5,200万円、27年度には2億9,000万円を目標に取り組みます。

【ビジネスモデル】

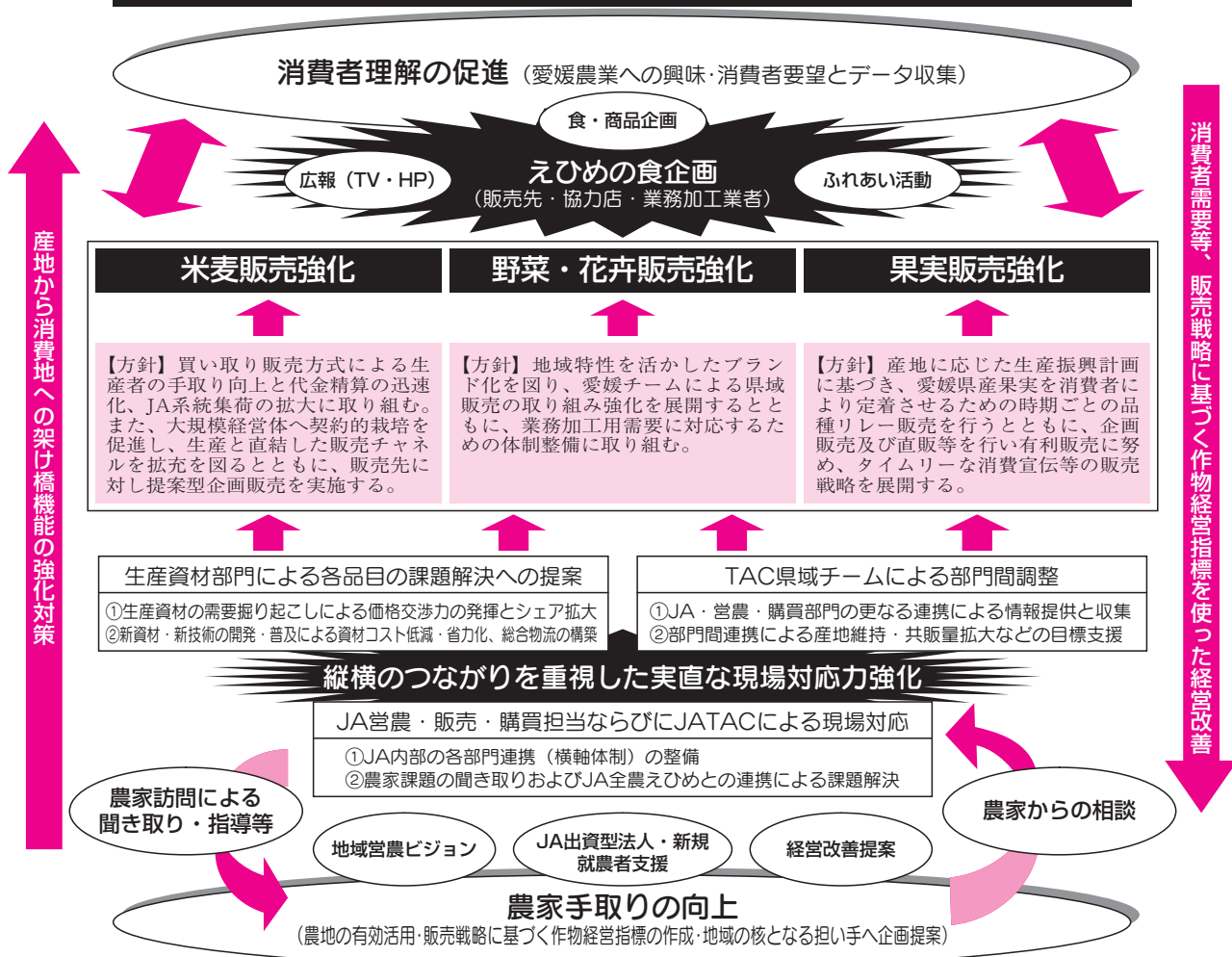
① 愛媛県内広域で栽培され、取扱量が多く特に重要な品目として、「きゅうり」「いちご」を設定。高品質安定生産及び県域品質統一化を整備し、有利販売をめざします。

② 東予地域をモデルとした里芋「伊予美人」の生産・販売体制を県下JAへ普及・拡大し、高品質安定生産に基づくブランド化をめざします。

◆特集:「トータルアグリード事業」の取り組み①

「トータルアグリード事業」耕種事業概念図

～地域農業戦略に基づく担い手の所得確保をめざして～



(3) 果実

産地に応じた生産振興計画に基づき、愛媛県産果実を消費者により定着させるための時期ごとの品種リレー販売を行うとともに、企画販売及び直販等を通じて有利販売に努め、タイムリーな消費宣伝等の販売戦略を展開します。

【目標】

企画販売額は25年度4億円、27年度4億5,000万円、直販販売額は25年度5億6,800万円、27年度7億6,000万円を目標に取り組みます。

【ビジネスモデル】

ビジネスモデル品目として、「紅まどんな」「甘平」を設定。愛媛オリジナル品種としてのブランド化へ向けた高品質安定生産及び愛媛チームとしての販売体制の確立を目指します。

(4) 資材対策

【肥料農薬・農機・園芸資材・

段ボール・包装資材】

生産対策・販売対策の下支えとして、各品目の個別対策要領を基本に、農家予約の強化による生産資材の需要掘り起こしを背景とした価格交渉



力の発揮とJAグループのシェア拡大に取り組みます。

また、新資材および新技術の開発・普及による生産資材コストの低減・省力化の提案を行います。

総合物流の構築による「営農と生活を守る物流」体制の整備と流通コスト削減の提案に取り組みます。

(5) TAC支援対策

JA・営農・購買部門のさらなる連携により情報提供と収集を行い、産地の維持拡大と共販量の拡大等目標達成の支援に取り組みます。

また、県域TACは、JA・JA全農えひめの営農・購買部門との調整を担い、情報の整理と適切な提供により、部門間連携の促進を図り、JATACと連携しながら産地維持・共販量拡大の目標支援のための施策調整を行います。

(6) 推進体制について

JA営農振興計画に連動したビジネスモデル品目・重点対策品目・県域戦略品目等に基づき、JAとの協議により推進品目の絞り込

み（選定）を行うとともに、JAとJA全農えひめ担当者が連携を密にし、品目ごとの課題抽出を行い、品目別に設定した各種要領を活用しながら目標達成に向けて推進強化を図ります。

また、JA・県域TACの役割として、企画・調整業務を担い、推進状況の共有化によるJA・県本部一体となった推進・企画体制を構築することとしています。

畜産事業方針

① 畜産生産基盤の強化対策Ⅱ県内を中心とした需要に因應するため、肉牛5,550頭・肉豚20万頭体制の取り扱いが維持できる生産基盤を構築します。中核・大口農家と連携し、成績向上に向けた経営指導・技術研修会等を行うなど規模拡大を支援します。

② 生産性向上対策・コスト削減対策Ⅱ中核養豚農家を対象に定期的経営検討会を開催し、母豚一頭当たり24頭の肉豚出荷を目標とした生産性向上対策を提案協議します。また、品質向上対策・衛生対策、低コスト資材の情報等を提供します。

③ 販売事業の強化対策ⅡSP（セールスプロモーション）レディを養成し、県内スーパー・量販店で試食宣伝活動を実施し、ブランド認知度の向上と消費者への支持拡大、取引先における取扱い拡大を図ります。

また、企業向けプレゼンテーションを実施し、地産地消と取扱いの拡大を図ります。

JA全農えひめは、「トータルアグリッド事業」を着実に実践していくため、畜産事業（4月8日開催）と耕種事業（4月17日開催）に分かれてキックオフ大会を開催。県本部長・副本部長以下担当職員が出席し、全職員が事業の目的・取り組み内容を確認するとともに、「目標の明確化と共有化」、「出向く営業（営農）」、「事業の見える化」を基本に取り組みむことを確認・徹底しました。

元気な産地づくりに向けて皆様のご協力をお願いいたします。

※6月号で耕種事業（米麦・野菜花卉・果実）、7月号で畜産事業の取り組み具体策を紹介いたします。

THE ねとろわーく

「A式段ボール箱の製造ラインを更新！ 高品質供給体制が整いました」

段ボール工場

段ボール工場は、主力となっているみかん箱タイプのA式段ボール箱の製造ラインを更新し、3月21日、竣工式・起動式を行いました。

同工場は、全国の全農グループで唯一の直営段ボール工場。ISO 9001の認証を取得した国内有数の設備で、年間約3、700万枚の段ボールを製造し、自前工場の強み



を発揮して資材コストの低減等に取り組んでいます。

今回の設備更新では、JAをはじめユーザーの高度化する品質要求に対応するため、段ボールシート（板紙）の印刷・溝切、糊付、折りたたみまでを行う印刷・製函機械を中心に、板紙給紙から製品のパレットへの積み付けまでを一貫して行うラインを導入しました。更新によって、

①品質向上、②1分間の製造速度が従来の200枚から350枚に高速化、③セット換え時間を従来の4割以下（6分）に短縮、④オペレータの削減、⑤精度向上に伴うロス・製造コスト削減等が可能となり、高品質供給体制が整いました。

段ボール工場では、県内JAのほか全農グループの段ボール箱の製造拠点として、また西日本地区の段ボール箱の品質管理の拠点として機能発揮に努めていきます。

「感謝の気持ちを込めて「ひめライス」 50周年記念キャンペーン」実施中!!

(株)ひめライス

(株)ひめライスは、4月15日から6月30日まで、ひめライスブランド誕生50周年記念キャンペーン「50周年ありがとう 50年の感謝の気持ちです!」を実施しています。

ひめライス精米商品の米袋に付いている「ひめマーク」を切り取り応募する方式で、応募すると、森の国ホテルペア宿泊券（1泊2食付）などが抽選で合計600人に当たります。

(株)ひめライスでは、キャンペーン

を通じて、愛媛県産のお米の地産地消の推進とブランド強化、小売店の販売促進の支援に取り組めます。

【賞品】

◆Aコース（10組20人）＝森の国ホテルペア宿泊券（1泊2食付）

◆Bコース（10組20人）＝三津浜花火大会「銀河」花火クルーズ（ペア）

◆Cコース（10人）＝バーベキュー応援セット

◆Dコース（50人）＝伊予牛「絹の味」焼き肉用ロース約500g

◆Wチャンス（500人）＝愛媛県産にこまる2kg

応募方法は、販売店のポスター・リーフレット、(株)ひめライスのホームページでご確認ください。

4月14日＝「オレンジデー」 多彩なイベントを実施し 愛媛かんきつをアピール！

4月14日は、愛媛発祥の「オレンジデー」。J A全農えひめは、大切な人に柑橘を贈り合って愛を深める記念日として定着させ、愛媛産柑橘の消費拡大につなげようと、4月10日～14日にかけて、今年も県内外でイベントやフェアを実施しました。

県内

①松山空港セレモニー

松山空港では、11月3日の「みかんの日」からスタートした記念日ごとに愛を育み深めていく道のり＝「愛のオレンジロード」の集大成として、4月14日、1階到着ロビーで、J A全農えひめの諏訪玄県本部長と愛媛いよかん大使3人が出席しセレモニーを実施しました。諏訪県本部長は、「欧米の結婚式では花嫁がオレンジの花を身に着けたり、男性がオレンジの実をもってプロポーズする習慣もあり、オレンジは愛のシンボルとされています。ぜひ4月14日のオレンジデーを覚えて、大切な人に旬の柑橘をプレゼントしてください」とあいさつ（P①）。いよかん大使とともに空港利用者1,000人に愛媛産の清見を手渡しました（P②）。また、(株)えひめ飲料が2階出発ロビーに「ボンジュース蛇口」を設置し、えひめみかんいよかんジュースを振る舞いました。



P①＝松山空港セレモニー



P②＝清見1,000個を配布

②県内協力店：「オレンジデーフェア」開催（4/12～4/14）

フジグラン松山などフジ5店舗（4/14）、イオン川之江店（4/12～4/14）で「オレンジデーフェア」を開催。試食宣伝等を行いながら柑橘＆オレンジデーをPRしました（P③）。



P③＝エミフルMASAKIでプレゼント

首都圏

「ORANGEDAY in Tokyo」と題して、東京ドームと東京タワーでイベント

① 東京ドーム「もうすぐオレンジデーナイト」(4/12)

チームカラーがオレンジ色の「読売巨人軍」とタイアップし、巨人VSヤクルト戦を提供開催。入場ゲートでは、オレンジ色を身につけた入場者先着2,000人に愛媛産「清見」をプレゼント（P④）。場内のオーロラビジョンでオレンジデーCMの放映、グラウンド上で「オレンジエル」「ジャビット」らがパフォーマンスを行いました（P⑤⑥）。また、抽選で観戦客200人に「清見＆ハート型観葉植物セット」をプレゼント。



P④＝入場ゲートで清見プレゼント



P⑤＝オーロラビジョンで「オレンジデー」PR



P⑥＝グラウンド上でもアピール

②東京タワー「オレンジまつり」 (4/13～4/14)

オレンジ色にライトアップされる「オレンジまつり」を開催。タワーの高さ333メートルにちなんで、抽選で333人／日に愛媛産「清見」をプレゼント（P⑦）。



P⑦＝東京タワー「オレンジまつり」

③三越日本橋本店

4/12～4/14、清見タワーを設置し、試食宣伝販売を交え柑橘とオレンジデーをPRしました。

京阪神地区

4月10日～オレンジデーフェア開催

協力店8店（阪急・阪神百貨店グループ7店舗と泉北高島屋）で、4月14日を中心にオレンジデーフェアを開催。阪急百貨店梅田本店では、いよかん大使やJ Aえひめ南のブラッドオレンジ生産者も参加し、愛媛自慢の柑橘とオレンジデーをPRしました（P⑧）。



P⑧＝阪急梅田本店では生産者参加でPR



新しい自分に向かって…

私のもうひとつの顔は、えひめ結婚支援センターのコーディネーター。

えひめ結婚支援センターは愛媛県が少子化対策事業の一環として愛媛県法人会連合会に委託して行っている事業です。この事業の立ち上げ当初から携わっていますのもう4年半になります。ここで独身の皆さんを対象に髪型から服装、会話術、ビジネスマナー等婚活のみならず、職場でも役立つ幅広いスキルアップセミナーを企画、開催しています。また1ヶ月に20本程度、各地で婚活イベントも行っています。

最近では愛媛県東京事務所と関東愛媛県人会青年部主催で、愛媛県出身者で現在首都圏在住の独身者を集め、東京都渋谷区の表参道で50人規模の交流会を開催しました。愛媛産の新鮮な食材を使ったランチを味わいながら出会いと交流を楽しもうというコンセプトで企画をしたのですが、想像以上に申込が多く当日は大盛り上がり！「愛媛の食べ物ってこんなにおいしかったんだ」とか「伊予弁が懐かしい」など、ふるさとを懐かしむ様々な声を頂きま

した。

またこんなイベントも企画しました。松山市の農業青年が作った採れたて厳選野菜を持って東京での女子会に突入！丹精込めて作った野菜の紹介や彼らが住んでいる街のDVDを流したりと、地域色満載のイベントに集まっていた女性たちは興味津々！未来の農業を背負う青年の熱い情熱に心打たれたのでしょうか。おいしい野菜に心惹かれたのでしょうか。愛媛を身近に感じることができたのでしょうか。愛媛をほとんど知らなかった皆さんが「ぜひ愛媛に一度行ってみたい」と答えてくれたのです。嬉しいことに、愛媛で一緒に食育活動をしたりブランドをたちあげたいという声もあがりました。

アナウンサーという職業からはじまり、結婚して表情筋トレーニング講師、そして母親となり婚活のコーディネーターとその時に自分の直感を信じ、やりたいことを仕事にできた人生に私は感謝しています。

人生において必ず守っていることが3つあります。

朱美 藤崎

AKEMI FUJISAKI

NPO法人にこっと 理事。愛媛県表情筋トレーニング協会 会長。えひめ結婚支援センター コーディネーター。日本顔学会 会員。フリーアナウンサー。

京都の大学を卒業後、南海放送㈱に入社。その後、㈱FM香川、㈱FM愛媛に勤め数々の番組を手がける。出産を機にフリーアナウンサーとなり、式典・披露宴・イベントの司会、ナレーション、CM出演など幅広く活躍。

2005年、四国初の表情筋トレーニング講師のプロ資格を取得。企業・ブライダル・医療機関における研修、講習、トークショー、セミナーの実施、PTA・父母会・同窓会の講演、また表情筋トレーニングのプロフェッショナル講師育成・指導等、幅広く活動中。県内の高校・専門学校・大学の講師も務めている。

2008年、少子化対策の一環として愛媛県の出資で設立された公的機関「えひめ結婚支援センター」のコーディネーターに就任し、「愛媛の婚活」を全力で応援中！ テレビ、ラジオ、CM、雑誌等にも多数出演。松山市出身、松山市在住。

◆NPO法人 にこっと事務局

HP <http://ameblo.jp/nicotto-ehime/>

E-Mail nicotto_ehime@yahoo.co.jp

フェイスブックでもイベント好評配信中。



▲スキルアップセミナーの授業風景。「笑顔の伝染」がキーワード！↑回目の授業で受講生の顔つきに変化が！！

- ① 2度と同じ失敗を繰り返さないこと。
 - ② 悩むなら動くこと。
 - ③ いつも笑顔を保つこと。
- いつも笑顔を保つこと。自分のことを好きになることです。毎日鏡を見るたびに言う言葉があります。それは「私はキレイ！」。これを聞くと皆さん「そんなこと恥ずかしくて言えない」とうつぶいてしまいます。でも言葉って不思議で、心理学の手法で「セルフトーク」なのですが、いつも

プラスの言葉を言うことにより自分に自信がつき前向きになれるのです。気持ちや感情をコントロールし自分の能力が発揮できるようになるのです。男性なら「俺はカッコイイ！」とぜひ自分をほめてあげてください。

さて、私のふるさとエッセーは今回が最終回です。皆さんお読みくださってありがとうございます。

「顔の筋肉を動かしたことなくってなかつたです」

「笑筋のトレーニングをはじめまし



▲えひめ結婚支援センター4周年記念スペシャルイベントにて。過去最高の500人規模での開催となり、大成功！ 左と一緒に企画から立ち上げたコーディネーターの石井さん



▲手鏡の裏面をフラワーアレンジでデコレーションした「デコ鏡」(手前)と、左右が反転して本当の自分が鏡に映る「リバーサルミラー」(後方)は必須アイテム

た」など、うれしい声が届いています。

各地で「顔つきをよくするために」と題し講演やセミナーを行っています。が、「したい」と思う人が1,000人だとすると、始める人は100人、そして続ける人は1人なんだそうです。

草木が芽吹く5月。あなたもなにかひとつ新しいことをはじめてみませんか？ 人は習慣によってつくられます。朝起きて寝るまで何をするか、その結果で自分の人生は変わります。人間の細胞は約60兆個といわれています。1秒間におよそ5,000万個もの細胞が生まれ変わっていて、部分ごとに寿命の違いはあるもののほぼ半年以内に寿命をむかえるそうです。変わろうと思えば誰でも6ヶ月後には新しい自分に生まれ変われるのです。

私は…今、また新しい自分に向かって走り出しているところです。どこかであなたに会う機会がありましたら、ぜひ話を聞いてください。では、その時まで…。

●平成24年度愛媛県果樹同志会大会

高品質安定生産対策とTPP参加断固反対を確認

県内果樹生産者が組織する愛媛県果樹研究同志会と愛媛県女性果樹同志会は、3月22日、松山市で「ブランド力向上で 愛媛果樹の新時代へ!」をテーマに、「平成24年度愛媛県果樹同志会大会」を開きました。

大会には、同志会員ら関係者約400人が出席。活動基本方針では、温州みかんで園地・樹によるバラツキが年々増している中、隔年結果防止に向けて樹に応じた剪定・摘蕾・摘果による適正着花（果）対策に取り組むこと、中晩柑類・落葉果樹類を含めて高品質安定生産対策を推進すること、果樹農業の維持・発展に向けて、果樹産地構造改革計画の実践と果樹経営支援対策を有効活用し優良品種への転換等で経営基盤の強化を図るとともに、消費者に「安全・安心」な美味しい果実の安定供給、農政活動の推進等に取り組むことを確認しました。

大会宣言では、①生産量を維持し、ブランド力を高めよう、②安定収入は、安定生産から、③省力化と効率化は基盤整備から、④食農教育活動で知ってもらおう愛媛のかんきつ、⑤TPP参加断固反対－を採択しました。

なお、えひめみかん祭り等のコンクール表彰式も行われました。主な入賞者は次の通り（敬称略。カッコ内はJ A名。※早生みかん果実コンクールとえひめみかん祭りコンクールの主な入賞者は12月号と3月号で紹介しているため省



略します）。

◆平成24年度柑橘園地若返りコンクール▽愛媛県知事賞＝石本幹郎（えひめ中央）

▽優等賞〈全農愛媛県本部長賞〉＝菅和幸（おちいまばり）▽優等賞〈愛媛県果樹研究同志会長賞〉＝西方勇二（同）

◆平成24年度キウイフルーツほ場コンクール▽愛媛県知事賞＝平林精一（おちいまばり）▽優等賞〈全農愛媛県本部長賞〉＝池内勝人（えひめ中央）▽優等賞〈愛媛県果樹研究同志会長賞〉＝中野博暉（愛媛たいき）▽優等賞〈愛媛県女性果樹同志会長賞〉＝井上啓二（東予園芸）

●「ふれ愛・媛ポーク」キャンペーン抽選会

キャラクターの名付け親など当選者101人選ぶ

J A全農えひめ畜産部は、3月28日、『ふれ愛・媛ポーク』キャラクターネーミング募集キャンペーンの抽選会を行いました。

今回のキャンペーンでは、「キャラクターネーミング募集コース」に2,032通、『ふれ愛・媛ポーク』おなかいっぱいコースに2,291通の応募があり、J A全農えひめの諏訪玄県本部長らが、当選者計101人を選びました。

「キャラクターネーミング募集コース」は、3月12日に開催した『ふれ愛・媛ポーク』銘柄推進協議会委員会で、608通りの中から「愛媛の豚肉を連想し、かつ愛着がありわかりやすい」名称を選定。抽選会では、決定した名称の応募287通の中から、諏訪玄県本部長が賞金10万円を進呈する名付け親（当選者）1人を選びました。また、「おなかいっぱいコース」は、当選者100人を選びました。

J A全農えひめでは、キャラクターネーミ

ング発表会を6月に開催する予定です。今後は、キャラクターと店頭消費宣伝活動の積極展開を通じて、「ふれ愛・媛ポーク」ブランドの一層の浸透と消費拡大・販売強化に努め、農家の所得向上に貢献することとしています。



▲諏訪県本部長（中央）らが厳正に抽選しました

●25年産一寸蚕豆出荷会議

シェア・売り場を確保し愛媛産の有利販売に取り組む！

J A全農えひめ野菜花卉課は、4月5日、J A愛媛別館で、「平成25年産一寸蚕豆出荷会議」を開きました。会議には、J A・市場担当者など22人が出席し、25年産の出荷方針・計画を決めました。

25年産の栽培面積は前年比86%の34.9ha、共販量は前年比110%の407.1トンを見込んでいます。生育は、定植期の降雨の影響により一部で定植遅れや根張が良くない状況がみられたものの、2月以降気温の上昇に伴い生育は順調に推移。出荷は4月下旬から始まっており、5月上旬をピークに関東方面を中心に行います。

販売基本方針では、①主要市場を中心に休日

25年産一寸蚕豆出荷計画表 (単位：ha、t、%)

	面積	共販量	4月	5月	6月
本年計画	34.2	407.1	38.5	386.3	0.3
前年実績	39.6	371.0	2.4	364.6	3.9
前年比	86%	110%	1,601%	101%	8%

※計画数字は4月上旬現在。

相対販売の効果的な実施等を通じ、愛媛産の売り場・シェア確保と有利販売、②品質重視の出荷徹底、③価格低迷時のS等級の値決め販売や国技館向け等業務用販売ルートの固定化など企画販売の実施、④消費宣伝活動等に取り組むことを確認しました。

●(株)ひめライス

無洗米キャンペーン抽選会実施

(株)ひめライスは、3月12日、「無洗米『あらうまい!』」を食べて愛媛を当てよう!」キャンペーンの抽選会を行い、6,550通の応募の中から当選者500人を選びました。

キャンペーンではテレビCMや店頭試食宣伝等を通じて販売拡大に努めたものの、米の2年連続値上がりによる消費減退、低価格・特売商品へのシフトが進んだため、キャンペーン中の無洗米定番商品の販売実績は前年比94%でした。同社では、「キャンペーンリーフレットで、利便性や環境・節約面など無洗米の特徴をPRした結果、『製造方法やメリットの内容がわかりよかった』などの声が多く寄せられた。厳しい販売環境の中、新規顧客や無洗米の普及につなげることができた」と分析。今後も、無洗米の拡大をめざします。



●えひめ野菜フェア

3月は県内外でのべ20日間開催

J A全農えひめとJ A愛媛野菜生産者組織協議会は、えひめ野菜のPRと売り場確保、スムーズな販売に向けて、3月をフェア強化月間に設定。県内と京阪神地区でのべ11店舗・20日間、生産者参加対面販売型を交えて冬春野菜やイチゴのフェアを開催しました。

県内では、3月16日～17日の2日間、フジグラン松山・重信、エミフルMASAKIの3店舗で「えひめ野菜フェア」を開催。16日は各産地の生産者らが店頭に立ち、試食を提供しながら、食べ方やえひめ野菜の美味しさをアピールしました。



なんでもBOX

●J A全農杯チビリンピック 小学生8人制サッカー IN四国 帝人SSが2度目の優勝！

「J A全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー IN四国」が、4月6日と7日の2日間、松山市の愛媛県総合運動公園球技場で開かれ、愛媛県代表の帝人サッカースクール（帝人SS）が9年ぶり2度目の優勝を果たし、5月3日から横浜市で開催される全国決勝大会「J A全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会」の出場を決めました。

大会には、4県の代表12チームが出場。選手たちは、雨と強風の悪天候の中、家族・関係者の声援を受け、熱戦を展開しました。

J A全農は、子どもたちの健やかな心身の成長を願い、未来の夢を応援しようと、同大会に特別協賛しており、J A全農えひめは、副賞・参加賞としてジュースを贈りました。



▲優勝した帝人SS

青壮年組織代表者とJ A全農えひめ幹部が意見交換

J A全農えひめは、3月19日、松山市のJ A愛媛で、愛媛県農協青壮年連盟とJ A青壮年組織の代表者と意見交換を行いました。

愛媛県農協青壮年連盟の西岡洋司委員長をはじめ青壮組織代表者とJ A事務局、J A全農えひめからは諏訪玄県本部長・副本部長・各部長など、計35人が出席。J A全農えひめから「トータルアグリッド事業」の概要を説明した後、青壮年代表者から出された「有利販売できる品目提案を」「販売面で指導力を発揮して欲しい」「はだか麦は需要が多いのになぜ価格がそれほど上がらないのか」等の質問・要望・提案にJ A全農えひめが回答・説明しながら活発に意見交換しました。



●(株)えひめ飲料が済美高校野球部に ポンジュース贈呈 済美高校が選抜大会で準優勝！

(株)えひめ飲料は、第85回選抜高校野球大会に出場した済美高校野球部に、ポンジュース10ケースを差し入れました。

3月19日、同社大阪営業所の門間伸一副所長が神戸市の同校宿舍を訪ね、野球部の中矢部長にジュースを手渡し激励しました。今大会、ポンジュースの応援を受け、済美高校はみごと準優勝を飾りました。

同社では、春と夏の甲子園に出場する愛媛県代表校に毎回ポンジュースを贈り、球児を応援しています。



▲中矢部長（左）にジュースを手渡す門間副所長

●日本航空「JAPAN PROJECT」 松山-羽田線等でポンジュース提供

日本航空グループと愛媛県がタイアップし、地域の魅力を発信する企画「JAPAN PROJECT」が、4月の1か月間行われました。3月28日には、愛媛県の中村時広知事と日本航空(株)の大西賢代表取締役会長の共同記者会見がありました。

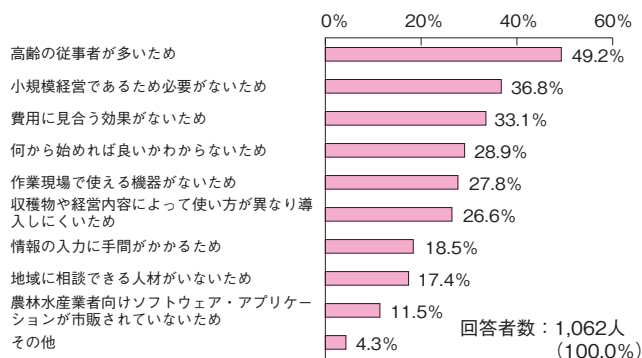
この取り組みは、国内線の機内食や機内ビデオ、機内誌「SKYWARD」など各種媒体を活用し、愛媛の食材や県産品などをアピールするもの。羽田-松山線の機内や羽田空港の国内線ラウンジでポンジュース提供のほか、国内線ファーストクラスの夕食メニューで里芋「伊予美人」や伊予牛「絹の味」など愛媛の食材を使ったメニュー提供、会員誌で「ブラッドオレンジ」紹介等が行われました。



知って得する 統計BOX

IT利活用を推進していくために —「農業分野におけるIT利活用に関する意識・意向調査」の結果から—

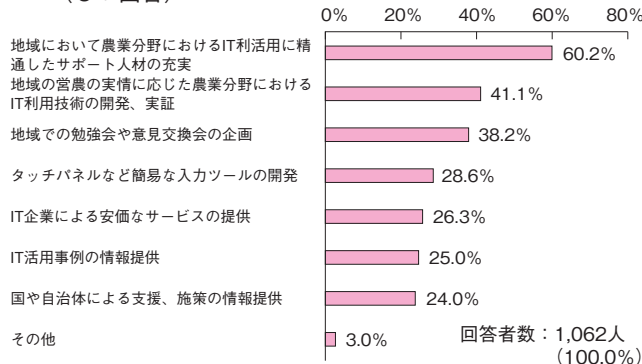
図1 農林水産分野においてITの導入が遅れていると言われる原因（3つ回答）



資料：農林水産省「農業分野におけるIT利活用に関する意識・意向調査結果」（平成24年9月28日公表）

注：農業者モニター1,269名を対象としたアンケート調査（回収率83.7%）

図2 農林水産分野においてITの利活用を促進するための取組（3つ回答）



※農林水産省ホームページ
※中国四国農政局ホームページ
※農林水産省経営局公式 Facebookページ

<http://www.maff.go.jp/>
<http://www.maff.go.jp/chushi/>



概要：農業経営に関連する施策や農業経営事例などを配信しています。
農業経営者の方々の経営発展につなげていただけるような情報はもちろんのこと、より多くの皆さんに農業経営に興味・関心を持っていただけるような情報を分かりやすくお届けします。

農林水産分野では一般的に他の産業と比べてITの導入が遅れている

高齢の従事者が多い

わ が国のIT（情報技術）は、世界の中でも高い水準にあります。この技術を農林水産分野に活用する取組が始まっています。今後、農林水産分野においてさらなるITの利活用を推進していく必要があります。

農林水産分野においてITの利活用を促進するための取組

ITの利活用に精通したサポート人材の充実

とされている原因について、農業者を対象に行った調査（3つ回答）によると、「高齢の従事者が多いため」49・2%、「小規模経営であるため」36・8%、「費用に見合う効果がないため」33・1%等が普及の阻害要因になっています（図1）。

用を推進するための取組について、農業者を対象に行った調査（3つ回答）によると、「地域において農業分野におけるIT利活用に精通したサポート人材の充実」60・2%、「地域の営農の実情に応じた農業分野におけるIT利用技術の開発、実証」41・1%、「地域での勉強会や意見交換会の企画」38・2%など、積極的に農村・地域を支えていく必要があることが分かります（図2）。

中国四国農政局

松山地域センター 農政推進グループ



インフォメーション とれたて市

- TEL/0894-72-3431
- 営/9:00~20:00
- 休/無休
- 住/西予市野村町野村12-634-1
Aコープのむら店内

とれたて市 ~Aコープのむら店~

澄んだ空気、山の養分、ミネラルもたっぷりの、どすこい農産物



山本 準二さん
(Aコープのむら店 店長)

『とれたて市』の近くに地元商品を陳列、大野ヶ原の土つき大根はまとめて仕入れ、水曜は宇和島漁港直送の鮮魚朝市など、地元のおいしいものがどっさり!! いかがですか!



▲梨本来のシャリシャリ食感が味かわる梨ジャム。わかるかな? 梨のスライス



▶地元の冠婚葬祭に欠かせない巻きようかん

Aコープのむら店駐車場の青空市からスタートした「とれたて市」が常設のインショップとなつて11年目になります。「地産地消の商品が並ぶことは店にとつても戦略になる」と山本店長が言うように、固定客がつく人気の産直市は約90㎡の広さを確保。127名の出荷者が野村・城川町産を中心に西予市一円から農産物・加工品を運んできます。春先にはフキノトウやタラの芽など自然の恵みも豊富。夏はスイカが圧巻だった、きれいで新鮮な野村のキュウリが途切れることなく、漬物にもちょうどいい小ぶりサイズのまとめ買いなど、おいしいものをおいしい時期に、より手ごろな価格で求められます。県知事賞受賞者の乾シイタケや、地元産新高梨のジャム、手づくりコンニャクや味噌、郷土の和菓子巻きようかんなど、いつもの商品も並んでいます。

山 あいの滋味が もりたくさん



▲ブルーのカゴは全部、生産者の商品。出荷者層が厚いのが自慢!



▲パッケージもオリジナルの乾椎茸



▲人参は保存がきく商品だけに「葉つきで新鮮さをアピール!」と、生産者の松田さん



【ピンポイントmap】



【ピンポイントmap】



【広域map】



【ピンポイントmap】



インフォメーション わくわく市

- Tel/089-967-5522
- 営/9:30~18:30
- 休/無休
- 住/伊予市中山町出淵2-145-3
Aコープなかやま店内



山崎 仁さん
(Aコープなかやま店 副店長)

「新年度はタケノコ、山ブキ、椎茸と山の幸を中心にスタート。夏にかけて新鮮な葉物野菜も多くなっています。お楽しみに！」



▲中山町のちらしずしは栗がたっぷり



▲ドアが開けば一番最初に目につく「わくわく市」

農

業のプロフェッショナル JA女性部の産直コーナー

中山町周辺にまだ産直市がない時代、JAえひめ中央中山支所の女性部により「わくわく」と楽しみな産直物の直販コーナーをやりたいたい」と始まった「わくわく市」です。広さは約5㎡のインショップに出荷する女性部有志は約30名。どの園地の農産物かまでわかるほど、素性の知れた安心で安全な品ばかりです。おかあさん手づくりの漬物や乾物、餅、饅頭、昔懐かしい駄菓子も好評です。



インフォメーション 神山新鮮市

- Tel/0894-22-3535
- 営/9:00~20:00
- 休/無休
- 住/八幡浜市大字五反田1-5-1
Aコープやわたはま店内

かみやま

神山新鮮市 ~Aコープやわたはま店~

インショップに週1回の店頭販売も加わり、相乗効果バツグン

市

毎週木曜「がいな市」

15年前からAコープやわたはま店の店頭で「にぎわう」JAにしよう女性部の「がいな市」は「神山新鮮市」の前身ともいえる存在です。毎週木曜午前中のみ開催ながら、楽しみに訪れるお客様も多く、5月23日(木)はJAにしよう女性部の全12支部そろって盛大な「15周年祭」が行われます。



▲じゃこかつ、いも天、コロッケなどが次々と揚げられて実演販売



▲「がいな市」は対面販売

安

心感を上乘せした 自家用の農作物

ミカンどころ八幡浜の産直コーナー「神山新鮮市」は平成20年に野菜と果物を扱う約7㎡の産直コーナーとして始まりました。八幡浜市内24名の出荷者はミカン農家の方が中心です。ミカンの木の下で、また家庭菜園でつくった農産物は、少量でも種類は豊富。ミカン同様に愛情いっぱい育てた農作物の数々です。



門田 貴利さん
(Aコープやわたはま店 店長)

「柑橘はもちろん、野菜、じゃこてん、削りかまぼこと、八幡浜らしい商品を取りそろえてお待ちしております」



▲「神山」はAコープのある地区の名。地元愛がたっぷりの市



● 昨年末念願のマイホームを購入しました。ドタバタでいろいろな事をじっくり検討する間もななく比較もそこそこでローンを決めてしまいました。3月号の特集を見ていればまた違ったのかもしれないと思いましたが、なんとか無事完成してほっとしています。

● 自分はあまり柑橘類を食べませんが、今年は「せとか」と「甘平」を初めて食べました。今まで食べた柑橘の中で一番美味しいと思いました。妻に「甘平」は愛媛のブランドだということを知り、ビックリしました。愛媛のブランド柑橘はどれ位あるのでしょうか？とても気になります。

(松山市・福田 英幸さん)

● 3月号特集「基本は安心JAホーム」を読んで。現在、分家農家住宅を建築中です。高価な買い物ですから、マイホーム建築についての税金や住宅ローン控除などについてJAに相談できることを知り、参考になりました。今後JAの支所に相談し進めてみたいと思います。

(松山市・渡部 美奈さん)

● 築130年位の我が家はすきま風はあるし、雨もありするし、大きな黒柱には愛着があるけど、そろそろJAホームにお任せしたい気持ちでいっぱいです。

● 花粉症が今年は特にひどいような気がします。のどは痛いし、目も鼻もずーっと調子が悪い。早くすっきりした毎日を過ごしたいです。

(八幡浜市・岡 葉子さん)

● 今、花粉散乱の時期。私は5年位前に、テレビでレンコンが花粉症にいいと聞き、すぐに実行。今では花粉症が本当に楽になりました。まず、レンコン（もちろんJAで買った新鮮なもの）を輪切りにスライスして、水と一緒に鍋に入れ麦茶を沸かすように、2分くらい沸騰させます。そのレンコン水を食べる前に飲みます。煮出したレンコンは調理して食べています。花粉が散乱する時期に早めに飲む方がよいと思います。今では薬もほとんど飲まないし、病院にも行っていません。私にとってはレンコン様々です。

(今治市・阿部 峰之さん)

イベント情報

- 「リジュー松山屋上ビアガーデン」
◇期間：5月9日(木)～9月30日(月)17:30～21:00
◇定休日：日曜・祝日、盆休み(8/15)
- 「新茶祭り」
◇日時：5月18日(土)～19日(日)
◇場所：JAグリーンえひめ(東温市)
◇内容：愛媛県茶業振興協議会が、県内4産地の今年産新茶とお茶を使ったお菓子の試飲・試食販売を行います。
- 「いよこら8周年感謝祭」
◇日時：5月25日(土)～26日(日)
◇場所：ファーマーズマーケットいよこら(伊予市)
◇内容：店名にちなんで1,456円以上お買い上げの方先着各500人/日に粗品進呈のほか、出荷会員参加による各種イベントや実演・試食販売等を行います。

※JA・読者の方から提供のあったイベント情報を掲載します。

● 資料情報で紹介された「多目的電気乾燥庫」に興味がありました。甘みも出て、いつでもカリッと食べられると思うと、楽しそうです。スナック感覚でおやつ代わりに食べたい、でもちょっと6万円は高いかなあ。早く普及し、もう少し安くならないかなあと願っています。

(西条市・谷崎 恵子さん)

● 多目的電気乾燥庫は、とても便利そうで、保存するのいいみたいですね。冷凍庫の次はこれかな？

(西条市・長谷川 光子さん)

● 農の風景を読んで。お隣のJA周桑にあんな素敵な「バルフェ」というかわいなお花があったなんて知りませんでした。世界で認められたなんてすごいですね。

(今治市・岡本 妙子さん)

● エッセー「私のシ・ゴ・トについて」を読んだ。就職・出産された藤崎さん。ご主人さんの一言で病気を乗り越えられ、現在NPO法人も設立し、いつでも笑顔でいられるとのこと。私も毎日笑顔でいるようにしたいです。これからも鏡を見て、笑顔を作っていきたい。これからもみんなが喜ぶ楽しい企画をお願いします。

(松山市・松本 恵子さん)

今月のクイズ

（ひめリスは、6月末までキャンペーンを実施中です。今年はひめリスブランドが誕生して何周年でしょうか？）

「〇〇周年」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。



締切り

平成25年6月17日(当日消印有効)

発表

「あぐりうど」7月号で発表します。

当選者発表

3月号の答えは「1272億円」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

朝井 邦子さん(西予市) 仙波 英昭さん(新居浜市)
田村恵美子さん(今治市) 越智 伸恭さん(今治市)
山田 年浩さん(松山市) 越智 信晴さん(今治市)
原 智裕さん(上島町) 長井 海都さん(西条市)
成田 明美さん(八幡浜市) 常川 有加さん(伊予市)

編集後記

★「オレンジロード」の集大成は4月14日の「JA全農えひめ」に向けて様々なイベントを実施する百貨店にも出てくるが、記念日として浸透しつつある。また、各種媒体からJA全農えひめに問い合わせも入っており、「オレンジロード」といったイメージとあるようです。リーダーズ通信内のイベント情報コーナーへのご提供をお願いします(正直)

NOW NOW

COOKING

今月の素材

豚モモ肉(ふれ愛・媛ポーク)



脂肪が少なく、やわらかい
ほんのり甘く、旨みは格別



指導／学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大西 望先生

豚シャブサラダワカメソース

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約360kcal

豚モモ肉・スライス	400 g
塩	適量
コショウ	適量
片栗粉	適量
ワカメ (乾燥)	6 g
サニーレタス	4 枚
長芋	150 g
赤パプリカ	60 g
醤油	大さじ 4
酢	大さじ 3
砂糖	小さじ 2
ゴマ油	大さじ 3
ラー油	大さじ 1

〈作り方〉

- ① 豚モモ肉は適当な長さに切り、塩・コショウをして片栗粉を薄くまぶし、沸騰した湯にくぐらせて水にとる。
- ② ワカメは水で戻し、絞っておく。
- ③ サニーレタス、長芋、パプリカは千切り。
- ④ ワカメと③の調味料をミキサーにかけて、なめらかなソースにする。
- ⑤ 皿に①と③を彩りよく盛りつけ、④をかける。

塩豚&塩豚スープ

〈材料・4人分〉

※塩豚スープは1人あたり約183kcal

豚モモ肉・ブロック	600 g
塩	小さじ1/4

【塩豚スープ】

塩豚スライス	100 g
チンゲンサイ	1 株
スープ	600cc

〈作り方〉

- ① 豚モモ肉はブロックのまま塩をすり込み、ラップで包み (または、ジップロックでも可)、一晩寝かせる。
- ② スープを沸かして、①の1/6分の薄切りと、ゆがいたチンゲンサイを入れて、ひと煮立ちすれば出来上がり。好みでクコの実を浮かべる。

※①の塩豚はそのまま冷蔵庫で1週間ほど保存可能。

※①の塩豚は薄切りにし、ソテーにしてもおいしい。

梅酢豚

〈材料・4人分〉

※1人あたり約271kcal

豚モモ肉・スライス	400 g
塩	適量
コショウ	適量
玉ネギ	1/2個
タケノコ (水煮でも可)	120 ~ 130 g
ピーマン	2 個
人参	1/2本
梅干し	50 g
油	適量
酢	大さじ 4
砂糖	大さじ 4
醤油	大さじ 2
スープ (中華)	90cc
片栗粉	大さじ 1

〈作り方〉

- ① 豚モモ肉は塩・コショウをしてくるくると巻く。
- ② 玉ネギ、タケノコ、ピーマン、人参は一口大に切る。人参は茹でておく。
- ③ 粗くほぐした梅干しと④の調味料を合わせる。
- ④ ①の豚肉の巻き終わりを下にして、油を熱したフライパンで焼く。
- ⑤ ④に②を加えて炒め合わせ、③を加え、トロミがつけば火をとめ、盛りつける。

5月20日新発売！ 伯方塩業(株)「伯方の塩」とのコラボレート商品
POM 塩と夏みかん



【果汁10%未満】

490ml

900ml

『伯方の塩と瀬戸内で育った夏みかんを使用』

- ① 伯方の塩と瀬戸内産の夏みかんを使用した熱中対策にぴったりの飲料です。
- ② 体液とほぼ等しい浸透圧に仕上げたアイソトニックタイプの飲料です。
- ③ カロリーが気になる人もゴクゴク飲みやすい、カロリーオフ仕上げです。
- ④ 安心の原料で、お子様にも美味しく飲んでいただけます。

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地 TEL:089-923-1500 FAX:089-924-0304
http://www.ehime-inryo.co.jp (通販専用)http://www.pom-j.com

全国発送承ります



えひめみかんいよかん ジュース

愛媛産の温州みかんといよかんの柑橘果汁を
ブレンドした飲みやすく体にやさしい果汁100%ジュースです。

- 1,000mlペットボトル×8本/ケース
- 250g缶×30本/ケース

ちやんと、えひめ。
しつかり、みかんいよかん。

えひめみかん
いよかん
果汁100%

えひめみかん・いよかんジュースは
愛媛の元気な太陽を浴びて育った
みかんといよかんの柑橘果汁を
ブレンドした飲みやすく体にやさしい
果汁100%ジュースです。

季節限定

数量に限りがあります。
品切れの際は
ご容赦頂きますよう
お願いいたします。



えひめつぶみかんいよかんジュース

愛媛産の温州みかんといよかんの果汁にみかんの果粒(つぶつぶ)を
加えた飲む果物感覚の果実分100%ジュースです。

- 1,000mlペットボトル×8本/ケース

愛用運動期間 4月1日～8月31日

主催団体／JAグループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部・県内各JA
JA愛媛中央会・JA全農えひめ

協賛団体／JAえひめ女性組織協議会・愛媛県農協青年連盟・愛媛県果樹研究同協会・愛媛県女性果樹同協会・愛媛県果実生産出荷安定協議会
愛媛県茶業振興協議会・JA愛媛信連・JA共済愛媛・JA愛媛厚生連・愛媛県酪産・JA愛媛施設産

